



不審者対応「いかのおすし」～群馬県防犯出前講座～

－昨日の17日（水）に、群馬県消費生活課県民防犯係の伊藤さち子さんと桐生警察署スクールサポーターの中島稔さんを講師に、群馬県防犯出前講座を開催いたしました。

この講座は、1年生から4年生を対象とするということで、1・2年生は、「誘拐・連れ去り防止～知らない人に付いていかない・知らない人を家に入れない～」という学習内容で、紙芝居を使って不審者に出会った時の対応の仕方を学んだり、連れ去り防止のためのロールプレイを行ったりしました。また、3・4年生は、「防犯ブザー訓練～登下校時、防犯ブザーを鳴らして逃げる～」という学習内容を行い、実際に防犯ブザーや防犯笛を鳴らして逃げる練習を行いました。低学年と中学年の学習の中で、共通して強調されたことは、『「いかのおすし」をきちんと守る』『不審者に連れて行かれそうになったら、大きな声で『助けて～』と叫ぶ』でした。講師の先生は、千葉県であった悲しい事件の例を出し、知らない人に付いていたり、車に乗ったりしては絶対にいけないということを強く児童に指導してくださいました。神明小の児童が絶対に被害に遭わないことを願っています。ただ、3・4年生で、防犯ブザーや防犯笛を持っていない児童がいたのは、少し心配です。



不審者役の中島さんの誘いを断って逃げるロールプレイ



いざという時は、ランドセルを投げ捨てて逃げるという練習



体力向上～朝から元気いっぱいになわ跳び練習



写真は、朝の運動の場面です。3学期は、「なわ跳び」運動を行っています。学年ごとに分かれての長なわ跳びの練習と全校児童一斉で行う短なわ跳びの練習は、1週間ごとに変わります。長なわ跳びでは、体育委員の高学年児童が、低学年の学級のなわを回す役割があります。低学年児童の跳ぶタイミングに合わせてなわを回してあげる高学年児童の優しさが見られる場面でもあります。

始めのうちは、なかなか長なわ跳びができなかった低学年児童も練習を重ねるうちに、スムーズになわの中に入って跳べるようになってきます。来週は短なわ跳びの練習です。短なわ跳びは、一人でできる運動ですので、いろいろな技ができるように練習を重ね、体力向上につながれると良いと思います。

大きくなったかな？～発育測定

1月10日（水）に4・5・6年とあおぞら学級、翌11日（木）に1・2・3年の発育測定を行いました。それぞれ学年ごとに、どのくらい伸びたのかなと調べてみると、どの児童も4月に比べて大体3～5cmくらいの身長伸びがありました。

次に示したことは、各学年で1番身長が伸びた児童と身長伸びです。

1年生…加藤日香里さん・酒井健成君	5.6cm
2年生…山口夏穂さん・原田和璃さん	6.2cm
3年生…尾池奏美さん	5.9cm
4年生…窪田真櫻さん	8.3cm
5年生…淀川颯太君	8.2cm
6年生…吉田珀都君	10.2cm



また、発育測定後には、各学年の発達段階に合わせて養護教諭による「かぜ・インフルエンザの予防」について保健指導が行われました。

保健指導中には、どの学年の児童も、保健の先生の話をしっかり聞いて、自分の健康をしっかり守っていくという態度が見られました。

たてわり活動 ～5年生がリーダー～

12日（金）のたてわり活動は、5年生がリーダーとなって進められました。グループごとに、5年生が計画して準備した「ドロ警」「氷鬼」「増やし鬼」「ドッジボール」で楽しむことができました。2学期まで企画、運営してくれた6年生の皆さんありがとうございました。6年生を引き継いで、5年生の皆さんも立派に頑張っていけると思います。グループによっては、活動後に6年生から5年生へのアドバイスの場面も見られました。



<リーダー5年生の進行>



<元気にドッジボールを楽しむ>



<6年生からアドバイス>

校旗を作ろうプロジェクト展示会 1/13～15

この度、3年生が蚕を育てて活動に参加した「校旗を作ろうプロジェクト」の校旗完成展示会が、群馬県庁展示ホールで開催されました。県内のプロジェクトに参加した各学校の素晴らしい校旗・運動会優勝旗等が展示されました。桐生市からは、本校を含め5校が参加しました。

日曜日には、桐生市からキノピーも応援に来ていました。

